



星田 逸郎

専門とする分野：

住宅・集合住宅
住宅地・都市設計
ランドスケープその他全般

所属：

(株)星田逸郎空間都市研究所

経歴：

1981年 神戸大学 工学部
環境計画学科(重村力)卒業

団地再編のイメージ

■住まい空間の懐の深さや複雑さ (complexity)

この半世紀、日本の建設技術や社会システムは飛躍的な発展を遂げ、巨大なマンションや、大きな造成地が開発されてきました。一戸毎の住宅は、高機能・高性能に、且つ壮麗につくられます。しかし販売価格を抑えるために敷地・容積いっぱい効率よく詰め込むため、広告に関係の薄い、住宅と街の間の領域が貧困になります。一方、日本の伝統的空間である辻や露地、縁側や土間などは、家から街までを、ある程度の複雑さをもった奥まり方で空間をつないでいました。家人と街の人が適度に触れ合える快適な関係により、幼児や子供、老人が、家族だけでなく身近に共存していたのです。それが人間形成の潜在的な教育にもなっていたと思われます。そういった伝統的に形成されてきた細やかな空間の仕組みが失われつつあるのです。

■住まい空間の生成変化への関わり (progress)

また、現代人の生活は、既製品を購入し使用することが暮らしを成り立たせており、自分でつくったり修繕したり、という物への関わりが少なくなっています。住環境にも同様のことが言えます。日本では古来から、住まい手が住まい空間に対して自ら考え、手を掛け、四季の快適環境のための簾や障子、水打ちや道の掃除などを通して、日常の細やかなドラマや感受性が保たれてきたと思います。そういった環境や近隣などの「場所」との関わりが深いほど、人間としてのアイデンティティ(自分という人間の居場所や固有性)の確立が得られやすいのは、精神医学など様々な分野でもいわれています。

そういった「暮らし空間」の大切さは、失ってもなかなか気づきにくいものです。前近代の世界では常識だったとして、先進国でも欧米はその事をいち早く思い直して修正をしています。日本は未だ高度成長時代のセンスが続いていると思います。我々の子孫が、何百年と幸せに生き続けるための最も大切な基盤とは、意匠や装置を脱いだ裸の骨格、すなわち「住まい空間」そのもの問題がまず第一だと思います。機能や技術は、それをサポートする筋肉や器官であるといえます。そんな「住まい空間」の骨格の力を、団地再生を通し取り戻していきたいと私は考えています。

団地は元々、都市部の人口を受け入れるための機能的でコンパクトな箱の集積体として誕生しました。それから半世紀前を経た現在、団地には自然環境が成熟し暮らしやコミュニティが誕生しています。そのため従来の箱の中が窮屈となり、むしろ外部へ開くことが、住まいの領域を広げ、自然の快適さやコミュニティをより育てていくのです。すなわち「応答する資質」を持った環境へと熟してきたのだと私はとらえます。また、元々の住棟は2戸に1つの階段室をもち、コミュニティの核となり、全ての部屋の窓が外部に開き、且つ奥行きが7m以下と明るく風が通り、景色がダイレクトに入りこむ、日本でも希少な空間資産だといえます。

これからの団地住棟は、それぞれの場所の持つ自然環境や暮らしやコミュニティの固有な有り様を読み取り、これらと親和的に応答することの結果として、建築はうがたれ、けずられ、抜かれ、足され、そこにしかない空間の快適形態として、リノベーションされデザインされていくことが望まれると思います。

まさに団地設計学は、第二フェーズに、後半戦に入ったばかり、これから本格的に21世紀に相応しい住環境の実現が始まるのだと思っています。

団地再編に関する知見

・私の知見は実務とそれらから得たものです。以下に住宅地に関するものを挙げます。

- 2001 ・集住体設計マニュアル(公)
 - ・西宮H団地東ゾーン配置建物設計カーズデザイン(公・8ha)
 - ・武庫川団地再生マスタープラン(公・50ha)
 - ・浜甲子園団地第1工区基本配置計画設計(公・8ha)
- 2002 ・武庫川団地再生マスタープラン・ステージ1(公・50ha)
 - ・堺市M団地建替基本配置計画(公・8ha)
 - ・芦屋市M地区戸建住宅地構想デザイン(民・3ha)
 - ・吹田市K団地トータルリニューアル構想(公・2ha)
- 2003 ・西宮市浜甲子園団地建替住棟基本設計(公・6000㎡)
 - ・神戸市戸建住宅地「カラズ神戸」設計監修+基本設計(民・50戸6000㎡)
 - ・西宮市戸建住宅地「カラズ甲子園」設計監修+基本設計(民・4戸400㎡)
 - ・西宮浜甲子園団地建替住棟実施設計(公・8F2000㎡)
- 2004 ・奈良県A村宿泊施設リノベーション計画(公民・1ha)
 - ・大阪府T市戸建住宅地コンペ(作品点1位)(公・1ha)・東M団地計画検討(公・2500㎡)
 - ・団地カルテ、入居促進対策調査研究(公・40団地)
- 2005 ・オーチャードヒル箕面外院戸建住宅地設計(民・25戸)・新豊里団地再生マスタープラン(公)
 - ・武庫川団地再生計画再評価・提案委員会(公)
 - ・西宮卸売市場再生計画(民・5000㎡)
- 2006 ・公的団地屋外環境診断調査(20団地)(公)・公的団地住戸内改善調査(40団地)(公)
 - ・Kシニアマンション「食」ゾーン計画(民・30階)
 - ・武庫川団地再生計画ステージ2(公・50ha)
 - ・K、S団地再生整備計画(公)
- 2007 ・西神南緑間庭園街区(民・1.3ha・戸建住宅地)・洲本PRJ(民・3ha・低層住宅+施設)
 - ・MシニアマンションPRJデザインレポート(民・28F)・団地リユース研究提案(公)
 - ・目神山緑のガイドライン(公)
- 2008 ・向ヶ丘団地ストック再生実証実験提案競技
 - ・西神南緑間庭園街区1期2期(民・1.3ha・戸建住宅地)
 - ・苦楽園PRJ(民・1ha)全体計画、販売センターデザイン
 - ・吹田操車場跡地地区イメージ検討(公)20ha
- 2009 ・向ヶ丘団地ストック再生実証実験実施設計・苦楽園二番町8号地の住宅設計(民)
 - ・池田五月丘緑間住宅地計画(民・4000㎡)・淡路島由良地区運河住宅PRJ(民)2.2ha
 - ・エコロタウン街づくり・モデル住宅アドバンス(民・6ha)
- 2010 ・向ヶ丘団地ストック再生実証実験現場監理・公開・研究
 - ・観月橋団地再生計画/商品企画・設計・入居促進業務(公・3.1ha)
 - ・アンクラーージュ御影リノベーション計画(民・31,000㎡)
 - ・T団地リノベーション計画コンサルティング(民・5ha)
 - ・岡本桜坂住宅地街づくり構想(民・2.4ha)
- 2011 ・向ヶ丘団地ストック再生実証実験研究
 - ・観月橋団地再生計画/商品企画・設計・入居促進業務(公・3.1ha)
 - ・T団地リノベーション計画コンサルティング(民・5ha)
 - ・岡本桜坂住宅地街づくりガイドライン(民・2.4ha)

2011年1月以降の業績(発表論文・著書など)

- ・向ヶ丘団地ストック再生実証試験
都市再生機構+戸田建設グループ(戸田建設 若築建設 京都工芸繊維大学鈴木研究室) 星田逸郎空間都市研究所 米谷良章設計工房 和田建築技術研究所
新建築社 新建築 2011・2月号 83ページ
- ・観月橋団地再生計画<計画>
都市再生機構 馬場正尊/OpenA(Aエリア)、DGコミュニケーションズ+星田逸郎空間都市研究所(Bエリア)
新建築社 新建築 2011・8月号 78ページ
- ・観月橋団地再生計画 <設計・竣工>
都市再生機構 馬場正尊/OpenA 星田逸郎空間都市研究所+DGコミュニケーションズ
新建築社 新建築 2012・2月号 106ページ

『関西大学 戦略的研究基盤 団地再編 プロフィールシート』

執筆：星田逸郎

本リーフレットは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「集合住宅“団地”の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究(平成23年度~平成27年度)」によって作成された。

関西大学

先端科学技術推進機構 地域再生センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
先端科学技術推進機4F 団地再編プロジェクト室

Tel : 06-6368-1111 (内線:6720)

URL : <http://ksdp.jimdo.com/>